

の勉強会を開催したり、一般就労に向けた企業・福祉施設の見学や、グループホームの見学などを行ってきました。今年度からは幅広い皆さんが参加できるよう、勉強会を土曜日に開催するなどの取組も行っています。

それぞれの子どもの特徴や成長に伴う悩み、将来に対する不安などを保護者同士、または地域の方が支え合い、「自分1人だけではないよ」と思ってもらえる活動を心がけています。

また近い将来には、子どもたちと保護者、地域社会がしっかりとつながり、安心して暮らせる場所、働く場所が増えていくことを大きな目標としています。



勉強会は、知識を深めるとともに、地域の皆さんのつながりを深める大切な場でもあります。

■ 主任児童委員連絡会の活動紹介

横浜市ファミリーホーム“ベテル好士”を訪問して

踊場地区主任児童委員 金澤 京子

主任児童委員連絡会では、昨年9月に横浜市ファミリーホーム“ベテル好士”を見学しました。ファミリーホームとは、児童福祉法に定める「小規模住居型児童養育事業(第二種社会福祉事業)」の通称です。

子どもにとっては、実親の家庭で温かい愛情を受けて育つのが最も望ましいことですが、さまざまな事情で親と共に暮らすことのできない子どもたちも大勢います。そのような子どもたちに、家庭に代わる養育環境を提供するのがファミリーホームです。

“ベテル好士”は平成9年5月に横浜市で7番目のファミリーグループホームとして戸塚区に開所し、平成22年の国の制度化に伴い、小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)に移行しました。好士信之・都枝子ご夫妻によって運営され、6名前後の子どもたちがここで生活をしています。対象年齢は2歳から18歳までで、これまで20年間で81名を受け入れられたそうです。

ホームの方針は“子どもの依存的自立を目指す”こと。「依存的自立」つまり「他者からの援助を受けながら自立した生活を送る」という方針のもと、子どもの将来を見据え、基本的な生活習慣や生活技術を身につけさせ、総合的な生活力を習得できるような支援を行っています。好士夫妻は子どもたちとの生活の中で、「子ども一人ひとりに寄り添っているのか」と日々自問自答されているそうです。

こちらでは子育てサロン「芽ぐみ」を開催し、近隣の親子も訪れます。子どものため地域のためにと日々奮闘されています。

私たち主任児童委員も、地域の一員として子どもの健やかな成長のために何ができるのかと考えながら、皆さんとの協力を大切にしつつ、これからも活動を続けていきたいと思えます。



食事や寛ぎの場所であるリビングにてご夫妻の強い熱意に感銘を受けました。

民生委員・児童委員の活動にもつながっています！

とつかハートプランマスコット「こころん」



誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現のために

とつかハートプラン



民生委員は100周年!



小さな気づき 寄りそう心
頼れる地域の『つなぎ役』

平成29年は、民生委員制度創設100周年の節目の年にあたります。そこで民生委員・児童委員制度をさらに発展させる機会とするため、さまざまな取組を行っています。

これからも、民生委員・児童委員活動について皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

民生委員制度創設100周年記念 全国大会に参加して



両陛下ご臨席のもと、厳肅な雰囲気の中に行われた式典

踊場地区民生委員児童委員協議会会長 **飯高 昌子**
平戸地区民生委員児童委員協議会会長 **林 一郎**

平成29年7月9日、民生委員制度創設100周年を記念し、全国で活動する民生委員・児童委員の仲間約1万人が一堂に会し、東京都江東区の東京ビックサイトにおいて全国民生委員・児童委員大会が開催されました。

冒頭の記念式典は、天皇皇后両陛下のご臨席のもと厳肅に行われました。

塩崎厚生労働大臣と小池都知事はご挨拶で、地域における民生委員・児童委員の長年にわたる活躍を称えてくださいました。また、制度が創設された100年前よりも、現代は民生委員・児童委員の役割が大きくなっているのではないかと話されました。

続く記念講演では「あたたかい社会をつくる」と題して、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生の講演がありました。鎌田先生は長野県茅野市で長らく地域医療に携わってこられ、地元の民生委員とともに活動を行ってきた経験から、「民生委員活動は愛と地域貢献と希望の3つの言葉に集約される」と語られ、世界に類を見ない民生委員という制度が100年前からあることは本当に素晴らしいことで、これからも、日本全体が希望に満ちた元気な国になって欲しいと話されました。

この記念すべき大会に参加することができ、光栄に思うとともに、改めて自分たちの役割の大切さや地域での見守り活動の意義について考える機会となりました。

テーマ別研修「民生委員制度創設の原点を学ぶ」に参加して

平戸地区民生委員児童委員協議会会長 **林 一郎**

大会二日目は、6つのテーマ別研修が実施されました。私が参加した研修では、大正6年に始まった済世顧問制度が、時代とともに形を変えて引き継がれてきた経緯や、「奉仕性」、「隣人愛」といった制度の基本に込められた先人の思いを再確認しました。

これからも「笑顔で安心できる暮らし」と「つながりのある地域社会づくり」のために民生委員活動を行っていきたいと考えました。

編集後記

今年、民生委員制度創設100周年ということで、記念式典や研修等が行われています。これまでの時代の流れと共に、民生委員制度は改正されてきましたが、私たち民生委員・児童委員が、地域住民の一員として皆さんのご相談にのり、関係機関の支援につなげてきたことは一貫しています。「誰もが安心して心豊かに暮らせるまち」のために、これからも心をひとつにして活動していきたいと考えています。(飯高 昌子)

【編集委員】門井富士夫、飯高昌子、郷原真理子、林 一郎、中田美記子、手塚睦子

【発行責任者】露木光夫 【事務局】戸塚区福祉保健課 ☎866-8418 FAX865-3963